

工事写真報告書

工 事 番 号 平成 25 年度

工 事 名 T 様 邸

工 事 箇 所 屋根・外壁・その他 塗装工事一式

工事住所 春日市 下白水北

工 期 着 手 平成 年 月 日

竣 工 平成 年 月 日

工事施工者 **ベストホーム 株式会社**



外観

屋根

外壁

破風・鼻かくし

軒天

雨樋

フード



外観

屋根

外壁

破風・鼻かくし

軒天

雨樋

フード



外観

屋根

外壁

破風・鼻かくし

軒天

雨樋

フード



屋根 カラーベスト

この素材はセメント：アスベストが
85：15で作られています。

劣化し割れや反りがひどくなり葺き
替えとなると、アスベストが入っ
ているので処分費がかなりかかります
ので、早めの塗装と維持をお勧めを
します。

またカビ・コケも見られました。



屋根 カビ等 発生部

対処方法

いくら高圧洗浄をかけても、カビの
根が残っており塗膜を突き破って表
面化してきますので、カビの根を殺
す防カビ下塗りをおこない、下塗
り・上塗り二回の三層四工程をおこ
ないます。



屋根 板金部

経年劣化しサビが発生しています。
サビが発生するとケレン作業やサビ
止め等の下地処理、または板金交換
などになりますので、ひどくなる前
の塗装が必要です。



小庇

この部分は鉄、スチール素材になります。

劣化するとサビが発生してきますので塗装が必要です。

フード

同上

対処方法

サビが発生しているうえに塗装をしてもすぐにサビが表面化してきますので、ケレン作業・サビ止め等の下地処理をおこない、塗装をしていく必要があります。



小庇 木部

経年劣化・旧塗膜も剥離見られます。

このまま塗装をしても旧塗膜から剥がれる恐れがありますので、ケレン作業をおこない密着の悪い旧塗膜を除去し、木パテや木部専用の下塗りをおこない塗装をしていきます。





樋・ダクトカバー

こちらは塩ビ素材になります。
劣化すると割れる恐れがありますの
で、塗装が必要です。



軒樋（横樋）

旧塗膜が剥離を起こしています。
この上から塗装をしても旧塗膜から
剥がれる恐れがありますので、ケレ
ン作業で密着の悪い旧塗膜を除去
し、専用下塗り・上塗り等をおこな
います。



縦樋（縦樋）

同上



建具廻り縁

こちらは木部素材になります。
表面が劣化し雨水や湿気により腐食
してきますので、塗装が必要です。



基礎 クラック部

アルカリ性のコンクリートは空気中の二酸化炭
素や酸性雨と結合することによって
徐々に中性化されます。
中性化されたコンクリートは表面にヒビが
入るだけでなく、内部の鉄筋の腐食
や膨張につながり構造物の性能低下
につながりますので、シーリング等で補
修をおこないます。



基礎 クラック部

同上



スキン（石調）塗装

色付きの石粉や陶器の粉をアクリル樹脂と混ぜて吹付けており、厚膜の塗装ですが、劣化するとカビが一番発生しやすい塗装です。

また防水効果が低下すると雨水や湿気を吸い込みやすく目も荒いため、塗装の際は下塗りを二回と上塗り二回の四工程をお勧めします。



外壁 クラック部

数か所見られました。

この部分から雨水や湿気、炭酸ガス等が直接侵入し躯体の痛みや建物の寿命につながりますので、シーリング等で補修ををおこない塗装をしていきます。



外壁 クラック部

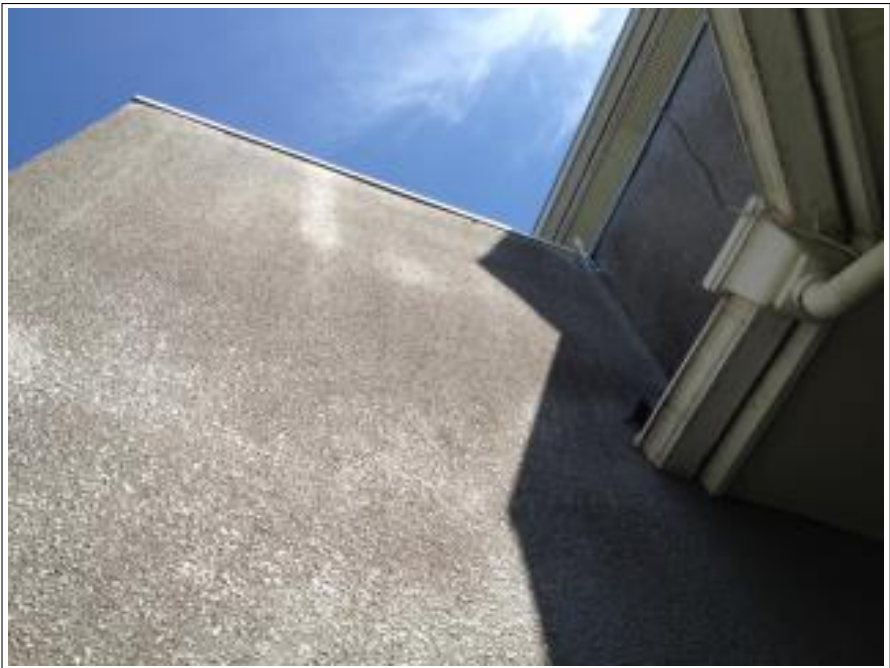
一部あとから補修をしている部分がありました。



外壁 劣化部

サッシ廻りからの雨水等での汚れが見られました。

表面がカビや汚れが付きやすい塗装ですので、気になる場合は汚れが付きにくい塗装やセルフクリーニング機能や親水性の塗装をお勧めします。



外壁 劣化部

塗装表面が劣化し色褪せをしている部分がありチョーキング現象を起こしている可能性があります。

この状態になると表面から水や湿気を吸い込んでしまい、外壁や中の躯体の痛みにつながりますので、早めの塗装をお勧めします。



外壁 カビ発生部

屋根と同様カビが見られます。

こちらもカビの根を止める下塗りをおこない、下塗り・上塗りの三層四工程をおこないます。